

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月9日
【四半期会計期間】	第121期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	リゾートソリューション株式会社
【英訳名】	RESORT SOLUTION Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 多賀 道正
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
【電話番号】	03(3344)8811(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 星野 幸男
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿六丁目24番1号
【電話番号】	03(3344)8811(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 星野 幸男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第120期 第1四半期連結 累計期間	第121期 第1四半期連結 累計期間	第120期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	5,208,703	4,756,279	20,068,853
経常利益(千円)	27,052	148,260	654,802
四半期(当期)純利益(千円)	59,931	204,661	518,102
四半期包括利益又は包括利益(千円)	62,444	211,106	530,295
純資産額(千円)	8,845,976	9,358,019	9,313,710
総資産額(千円)	30,424,009	29,087,433	29,974,082
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	1.08	3.68	9.33
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	28.8	31.8	30.8

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権によるデフレ脱却や経済成長の促進を図る政策への期待感から円安、株高が進行し、企業収益や個人消費の一部に回復の兆しがみられたものの、長引く欧州経済の停滞や新興国経済の減速などの影響もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループでは、主力事業であるゴルフ場・ホテル等の運営事業において、「顧客満足度の向上」を目指して、サービス品質の見直しと改善に注力するとともに、お客様に選んでいただける商品企画を推進し、各種会員への商品やメニュー情報の発信を強化してまいりました。

ゴルフ運営事業におきましては、価格・サービスの両面で満足度向上を図る「バリューセルフ」方式を拡充するとともに、良好なコースコンディションを維持するための「オールシーズンハイクオリティ」を徹底することで、入場者が増加いたしました。

ホテル運営事業におきましては、賃貸借契約の終了に伴い3ヶ所のホテルの運営が減少したことにより、売上高は減少したものの「くつろぎ」をコンセプトにしたホテルとして、会員向けサービスや情報発信の強化に努めたことにより、既存ホテルの稼働率、客単価ともに向上いたしました。

福利厚生事業におきましては、会員企業の拡大に努めるとともに、宿泊施設やスポーツクラブ、医療、介護サービス等の多彩なジャンルにわたるメニューの充実とその利用促進を図りました。

リゾート事業では、ゴルフ・リゾート会員権の仲介事業は流通相場が回復基調にあり、販売が順調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間は、売上高はホテルの運営施設の減少等により前年を下回りましたものの、ゴルフ場・ホテル等の既存施設の収益の増加により、売上高は4,756百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は148百万円（前年同期比448.0%増）、四半期純利益204百万円（前年同期比241.5%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて886百万円減少し、29,087百万円となりました。これは主に売掛金の減少等によるものであります。負債につきましては、19,729百万円となり、前連結会計年度末に比べて930百万円減少しております。これは主に、預り保証金の減少等があったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売の実績について著しい変動はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数 (株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	55,642,000	55,642,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	55,642,000	55,642,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	55,642	-	3,948,088	-	1,759,974

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 84,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 55,419,000	55,419	-
単元未満株式	普通株式 139,000	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,642,000	-	-
総株主の議決権	-	55,419	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式101株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
リゾートソリューション株式会社	東京都新宿区西新宿6丁目24-1	84,000	-	84,000	0.1
計	-	84,000	-	84,000	0.1

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間の末日までにおいて、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,845,511	2,254,290
売掛金(純額)	1,946,163	965,005
商品	148,507	156,231
販売用不動産	972,173	977,381
貯蔵品	118,206	110,923
未収入金(純額)	518,718	410,299
その他(純額)	994,744	1,196,360
流動資産合計	6,544,026	6,070,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,144,278	5,102,339
土地	4,978,390	5,067,464
その他(純額)	967,159	947,645
有形固定資産合計	11,089,828	11,117,450
無形固定資産		
のれん	1,904,654	1,871,930
その他	405,910	393,327
無形固定資産合計	2,310,565	2,265,257
投資その他の資産		
投資再生不動産	8,300,282	8,202,181
その他(純額)	1,729,379	1,432,050
投資その他の資産合計	10,029,662	9,634,232
固定資産合計	23,430,056	23,016,940
資産合計	29,974,082	29,087,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	690,023	563,999
短期借入金	2,497,500	2,775,000
1年内返済予定の長期借入金	1,565,846	1,605,806
未払法人税等	162,356	105,676
賞与引当金	104,195	57,070
その他	3,388,787	2,676,219
流動負債合計	8,408,708	7,783,772
固定負債		
長期借入金	4,337,205	4,152,806
長期預り金	317,363	309,620
預り保証金	5,549,963	5,466,759
退職給付引当金	479,643	477,669
従業員特別補償引当金	7,000	7,000
資産除去債務	150,620	151,316
その他	1,409,867	1,380,469
固定負債合計	12,251,663	11,945,641
負債合計	20,660,372	19,729,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,356,811	2,356,811
利益剰余金	2,659,366	2,697,354
自己株式	18,282	18,405
株主資本合計	8,945,984	8,983,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13	14
土地再評価差額金	272,948	272,948
その他の包括利益累計額合計	272,934	272,933
少数株主持分	94,791	101,237
純資産合計	9,313,710	9,358,019
負債純資産合計	29,974,082	29,087,433

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
 【四半期連結損益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,208,703	4,756,279
売上原価	2,482,462	1,670,091
売上総利益	2,726,241	3,086,187
販売費及び一般管理費	2,679,151	2,927,483
営業利益	47,089	158,704
営業外収益		
受取利息	1,826	61
投資事業組合等利益	2,709	-
債務消却益	9,119	2,647
投資再生不動産売却益	10,875	35,875
その他	12,009	12,989
営業外収益合計	36,540	51,574
営業外費用		
支払利息	50,783	49,724
その他	5,793	12,294
営業外費用合計	56,577	62,018
経常利益	27,052	148,260
特別利益		
営業補償金	39,800	8,182
特別利益合計	39,800	8,182
特別損失		
事業所整理損	520	-
特別損失合計	520	-
税金等調整前四半期純利益	66,333	156,442
法人税、住民税及び事業税	18,830	46,599
法人税等調整額	14,955	101,265
法人税等合計	3,874	54,665
少数株主損益調整前四半期純利益	62,458	211,107
少数株主利益	2,526	6,445
四半期純利益	59,931	204,661

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	62,458	211,107
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	13	1
その他の包括利益合計	13	1
四半期包括利益	62,444	211,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,918	204,660
少数株主に係る四半期包括利益	2,526	6,445

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表関係）

1. 貸倒引当金直接控除額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
流動資産	30,850千円	31,338千円
投資その他の資産	259,916	261,049
計	290,767	292,388

（四半期連結損益計算書関係）

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間にかかる減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	177,673千円	181,911千円
のれんの償却額	32,523	32,724

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月11日 取締役会	普通株式	166,675	3.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金 及び資本剰 余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月10日 取締役会	普通株式	166,673	3.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計算書計上額
	ゴルフ運営事業 (千円)	ホテル運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,639,193	1,829,188	-	495,075	245,245	5,208,703	-	5,208,703
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,639,193	1,829,188	-	495,075	245,245	5,208,703	-	5,208,703
セグメント利益又は損失()	388,435	62,933	-	58,908	23,723	242,870	195,780	47,089

(注) . セグメント利益又は損失()の調整額 195,780千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結損益計算書計上額
	ゴルフ運営事業 (千円)	ホテル運営事業 (千円)	開発事業 (千円)	福利厚生事業 (千円)	リゾート関連事業 (千円)	計 (千円)		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	2,497,104	1,641,217	-	386,278	231,678	4,756,279	-	4,756,279
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,497,104	1,641,217	-	386,278	231,678	4,756,279	-	4,756,279
セグメント利益又は損失()	466,190	16,347	-	71,517	9,832	388,157	229,453	158,704

(注) . セグメント利益又は損失()の調整額 229,453千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

前連結会計年度末に比べて著しい変動がないため記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額(千円)	1円8銭	3円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	59,931	204,661
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	59,931	204,661
普通株式の期中平均株式数(千株)	55,558	55,557

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月10日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 166,673千円
 1株当たりの金額 3円00銭
 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月28日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 8日

リゾートソリューション株式会社
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	加藤善孝	印
指定社員 業務執行社員	公認会計士	狐塚利光	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているリゾートソリューション株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、リゾートソリューション株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。